

参考資料

- ①明治卅五年度海軍拡張費建築費工事竣工報告書
- ②舞鶴鎮守府需品庫三棟新築仕様書
- ③舞鶴鎮守府需品庫需品庫新築之図面
- ④衣糧科及需品庫排水工事位置図
- ⑤需品庫及経理部衣糧科構内物品運搬通路新設位置図
- ⑥需品庫の用途変更について
「建物及工作物用途変更、供用替、口座名変更」(大正 15 年)
- ⑦周辺海軍施設の変遷 (明治 44 年・大正 12 年・昭和 20 年)
- ⑧古写真

例言

1. 重要文化財舞鶴旧鎮守府倉庫施設 7 棟 (1 棟附) のうち、紙幅の都合により、舞鶴海軍需品庫需品庫 (三棟) に関する資料を中心に掲載する。他棟についての資料は、過去の建造物調査報告書、修理工事報告書 (本文 33 p 参照) に掲載されているので、そちらを参照されたい。
2. 参考資料①、②は元の資料の写真と、翻刻を併記する。翻刻にあたっては旧字体を新字体に改めた。

第 1 章 概 論

第 1 章 概 論

第 1 章 概 論

第 1 章 概 論

第 1 章 概 論

第 1 章 概 論

第 1 章 概 論

第 1 章 概 論

第 1 章 概 論

第 1 章 概 論

第 1 章 概 論

第 1 章 概 論

第 1 章 概 論

第 1 章 概 論

第 1 章 概 論

第 1 章 概 論

第 1 章 概 論

第 1 章 概 論

明治卅五年度海軍拡張費建築費工事竣工報告

科目	予算令達高		工事名称	実費額		起工年月日		竣工年月日	差引金額	記事
	計			計		起工年月日	竣工年月日			
需品庫	七六、九二二	八八五	舞鶴需品庫 需品庫三棟新営	六四、八四〇	三七八	三十四年 二月十五日	三十五年 六月九日	既定予算一〇〇、〇〇〇円ノ処分舍外 十七■へ三三〇、七八四一五減額ニ付本行 ノ通		
計				六六、五二〇	三七八	三十四年 十二月二日	三十五年 四月廿五日	本項実費額ノ内一〇、八五二円三七八 煉化石代ヲ併算シタルモノナリ		
護謨庫	三、四八五	〇〇〇	護謨庫新営	三、四八五	〇〇〇	三十四年 十二月二日	三十五年 四月廿五日	既定予算四八〇円ノ処需品庫ヨリ 三、〇〇五円増額ニ付本行ノ通		
還納品庫	三、五〇〇	〇〇〇	還納品庫新営	三、四〇七	〇〇〇	三十五年 六月一日	三十五年 十月八日	差引金額ハ他へ流用ノ見込		
薪炭並石灰庫	一、八九二	〇〇〇	薪炭並石灰庫新営	一、八九二	〇〇〇	全	全	既定予算一、五〇〇円ノ処需品庫 ヨリ三九二円増額ニ付本行ノ通		

海軍

舞鶴鎮守府需品庫需品庫三棟新築仕様書

舞鶴鎮守府需品庫需品庫三棟新築仕様書

(判)

舞鶴鎮守府需品庫需品庫三棟新築工事仕様書

一 合建坪 五百貳拾八坪

内

一 桁行二十一間 梁間八間 甲乙丙 煉化石造貳階建

但シ軒高地盤ヨリ軒蛇腹上端ニ拾老尺〇五分

此 建坪 (老棟ノ分) 百七拾六坪

附 而

一 側出入口面開鉄扉及引分木製網戸 側出入口面開鉄扉及引分木製網戸

一 両妻出入口 前全断 内法 高 中心ニテ九尺八寸二分 巾 六尺九寸二分

一 側窓階下 面開鉄扉鉄格子嵌込 上ケ下ケ硝子障子建テ 全 高 六尺五寸 巾 三尺四寸六分 六ヶ所 六十六ヶ所

屋根切妻造り■小屋勾配五寸五分切込棧瓦葺 壁外面洗出し内面漆喰塗床階上下其厚板張り総四面ノ通

一 右材料ハ当軍港内ニ於テ可下渡ニ付運搬ノ上外積及裏積等指図ニ從ヒ撰拔致シ使用スベシ又煉化石ニ毀害無之様注意致シ取扱若シ取扱上粗漏下認メ煉化石ニ多数ノ毀損生ジ為メニ不足シタル場合ニハ請負者ヨリ弁償致スベシ

一 右材料ハ当軍港内ニ於テ可下渡ニ付運搬ノ上外積及裏積等指図ニ從ヒ撰拔致シ使用スベシ又煉化石ニ毀害無之様注意致シ取扱若シ取扱上粗漏下認メ煉化石ニ多数ノ毀損生ジ為メニ不足シタル場合ニハ請負者ヨリ弁償致スベシ

一 右材料ハ当軍港内ニ於テ可下渡ニ付運搬ノ上外積及裏積等指図ニ從ヒ撰拔致シ使用スベシ又煉化石ニ毀害無之様注意致シ取扱若シ取扱上粗漏下認メ煉化石ニ多数ノ毀損生ジ為メニ不足シタル場合ニハ請負者ヨリ弁償致スベシ

一 右材料ハ当軍港内ニ於テ可下渡ニ付運搬ノ上外積及裏積等指図ニ從ヒ撰拔致シ使用スベシ又煉化石ニ毀害無之様注意致シ取扱若シ取扱上粗漏下認メ煉化石ニ多数ノ毀損生ジ為メニ不足シタル場合ニハ請負者ヨリ弁償致スベシ

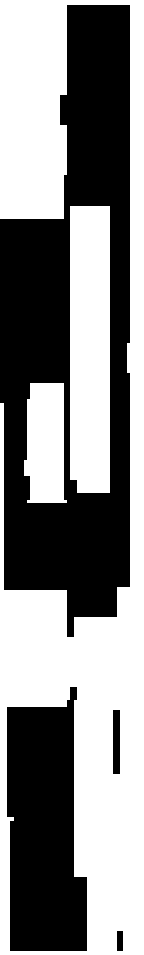
全上階上兩開鉄扉上下ケ硝子戸建	全	高 五尺五寸 中 三尺四寸六分	七拾八ヶ所
兩妻化粧窓空氣抜防火鉄物嵌込ミ	〃	内 五尺 四尺	六ヶ所
側廻床下風窓防火鉄物嵌込ミ	〃	高 七尺 中 七尺	七拾八ヶ所
側廻階上空氣抜防火鉄物嵌込ミ	〃	〃 七寸六分 〃 七寸	七拾二ヶ所
階上荷揚口格子揚蓋式枚嵌込ミ	〃	長 六尺貳寸 中 六尺一寸五分	九ヶ所
階上昇降口開放シ	〃	〃 十二尺 〃 七尺六寸	六ヶ所
木製階段式拾四段	〃	中 六尺	六ヶ所
出入口登リ橋	〃	長 七尺八寸 中 八尺一寸	六ヶ所
出入口上庇シ亜鉛引波形鉄板葺	〃	中 十二尺八寸 流レ 七尺	拾貳ヶ所
屋根雪止メ鉄物	〃	高 六寸	百三十三間五分
軒樋半円状亜鉛引鉄板製	〃	半円形 五寸	百三十三間五分
堅樋円状全板製呼樋付	〃	円 三寸五分	參拾ヶ所

下渡シ煉化之部

- 一 焼過煉化石 壺式
- 一 並焼上等煉化石 壺式

但シ焼過煉化ハ根積、石裏、腰積等ニ用ヒ並焼煉化ハ側廻リ其他ニ使用スベシ

一 右材料ハ当軍港内ニ於テ可下渡ニ付運搬ノ上外積及裏積等指図ニ從ヒ撰拔致シ使用スベシ又煉化石ニ毀害無之様注意致シ取扱若シ取扱上粗漏下認メ煉化石ニ多数ノ毀損生ジ為メニ不足シタル場合ニハ請負者ヨリ弁償致スベシ



右仕法

根切ノ部

建設地ヨリ盤高低敷平均シ別紙図面ニ基キ繩張水盛遣

形取設ケ

根切側廻リ布掘リ 中四尺三寸 深二尺一寸五分五厘

路左右梁受柱下壺掘リ 中式尺方 深老尺式寸

共縁石下布掘リ 中老尺 深老尺

間通り三尺間以内壺掘大サ中 中一尺五寸方 深八寸

掘リ 中老尺 出入口登リ橋叩キ下共図面ノ通り鋤取リ堅樋受

石下深七寸通り根切り致残土ハ現場指図ノ場所へ運搬敷平均スベシ

但シ甲号埋築地(配置図赤色ニ係ル処)ノケ処増掘シ指図

ニ従ヒ側折廻リ三方根切 中五尺六寸 深五尺四寸

左梁受柱下壺掘シ 中三尺二寸方 深四尺七寸

以上床束石中下 中三尺五寸以上 何レモ堅層盤迄掘下ケ出入口

登リ橋縁石下布掘リ 中老尺 深老尺八寸

ノケ所ハ指図ノ通り増掘スベシ

割栗地形ノ部

割栗石搗ハ甲号埋築地赤着色ノ位置ニシテ割栗花崗岩

〔木ノ中ノ手類ナル硬石〕横差八寸以上柱立ニ詰並ベ目潰砂利入六

拾貫目以上ノ大蛸ニテ二度廻リゾ、突堅メ出入口登リ橋叩キ下厚

六寸通り堅樋受石下厚五寸通り何レモ前全割栗石及目潰

砂利共入仕方前全断突堅メ其他甲乙丙号ノ内地盤不良ノケ

右仕様

根切ノ部

建設地ヨリ盤高低敷平均シ別紙図面ニ基キ繩張水盛遣

形取設ケ

根切側廻リ布掘リ 中四尺三寸 深二尺一寸五分五厘

路左右梁受柱下壺掘リ 中式尺方 深老尺式寸

共縁石下布掘リ 中老尺 深老尺

間通り三尺間以内壺掘大サ中 中一尺五寸方 深八寸

掘リ 中老尺 出入口登リ橋叩キ下共図面ノ通り鋤取リ堅樋受

石下深七寸通り根切り致残土ハ現場指図ノ場所へ運搬敷平均スベシ

但シ甲号埋築地(配置図赤色ニ係ル処)ノケ処増掘シ指図

ニ従ヒ側折廻リ三方根切 中五尺六寸 深五尺四寸

左梁受柱下壺掘シ 中三尺二寸方 深四尺七寸

以上床束石中下 中三尺五寸以上 何レモ堅層盤迄掘下ケ出入口

登リ橋縁石下布掘リ 中老尺 深老尺八寸

ノケ所ハ指図ノ通り増掘スベシ

割栗地形ノ部

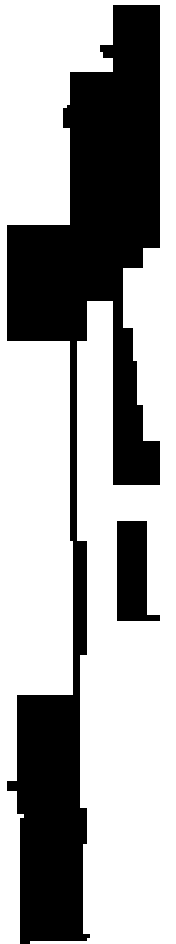
割栗石搗ハ甲号埋築地赤着色ノ位置ニシテ割栗花崗岩

〔木ノ中ノ手類ナル硬石〕横差八寸以上柱立ニ詰並ベ目潰砂利入六

拾貫目以上ノ大蛸ニテ二度廻リゾ、突堅メ出入口登リ橋叩キ下厚

六寸通り堅樋受石下厚五寸通り何レモ前全割栗石及目潰

砂利共入仕方前全断突堅メ其他甲乙丙号ノ内地盤不良ノケ



所ハ根切増掘致シ指図ニ從ヒ前全割栗石目潰砂利共入
図面寸面ニ倣ヒ前全様搗堅メ致スベシ

但シ前記出入口登リ橋叩キ下栗石搗込ハ各出入口登リ橋
叩キ下総テ搗堅メスルモノトス

コンクリート打之部
コンクリート側廻リ大サ 中四尺三寸
厚老尺 柱形下ハ図面ニ倣ヒ巾増付通路

左右柱下 中三尺方
厚老尺 全左右及両妻戸摺際共縁石下 中老尺四寸
ア八寸 床

束石下 中一尺五寸方
厚六寸 出入口登リ橋廻リ縁石下 中老尺五寸
ア六寸 堅樋受石

下厚四寸通り何レモ調合 川砂三
セメント一 八分目篩川砂利六、厚板練台

上ニテ最初乾練致シ適量ノ水ヲ加ヘ四回以上念入練返シ厚

式回ニ打込毎回手蝟ニテ指図ノ通り突堅メ上端不陸ナキ様全「モ

ルタル」塗平均シスベシ
但シ甲号(配置置図赤色ノ処)前記割栗搗ノケ所下層

「コンクリート」大サ側折廻リ 中三尺方
厚老尺三寸 柱形下ハ巾増付通

路左右柱下 中三尺方
ア老尺五寸 全縁石下 中三尺
ア老尺 床束石下 中二尺五寸
ア一尺五寸 (上層)

大サハ前全断)「コンクリート」配合仕方共前全断堰板取設ケ打堅スベシ

出入口登リ橋「コンクリート」厚五寸通り調合仕方前全断打堅メ上端

川砂一、調合モルタル厚三分通り塗平均シ不陸奥之様鑊摺

仕上ゲスベシ

石工之部

側廻リ根石及腰石花崗岩(若シテ不産硬石)色揃へ根

石 中老尺卷寸四分
ア老尺五寸五分 長式尺八寸以上側柱形根石 中老尺五寸
ア老尺五寸五分 長式尺八寸

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

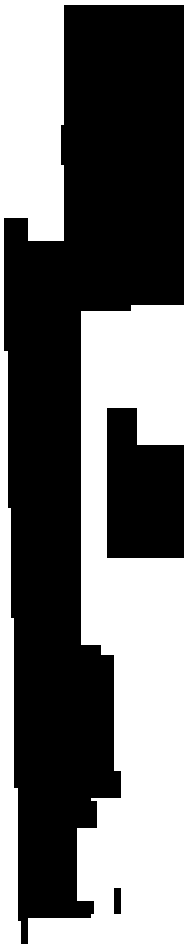
—

—

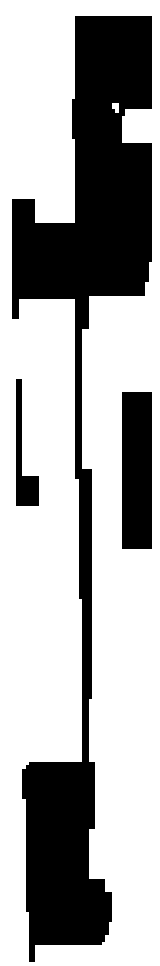
—

—

—

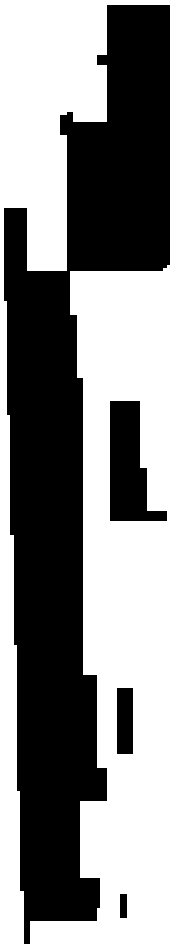


以上隅柱形根石 中老尺八寸 厚老尺五寸五分 及 中老尺五寸 厚老尺五寸五分 (切欠キ) 長何レモ參尺
 式寸以上組合腰石 九寸五分 長式尺九寸以上全柱形石 老尺三寸五分 長
 貳尺四寸以上全隅柱形石 老尺四寸 長參尺式寸以上及 老尺三寸五分 六寸五分
 (切欠キ) 長式尺八寸以上組合彫刻ハ外部見ヘ掛リ瘤出シ
 (俗ニ江戸切ト言フ) 合口際及角ト六分通りヅ、及上端水垂レ共
 參返小叩キ合口小叩キ其他荒鑿切石裏不揃ナキ様切り
 落シ側妻出入口地覆石及戸摺石共前全石 中老尺四寸五分 厚老尺五寸
 抱合セ長式尺八寸及四尺壹寸五分式本繼キ左右戸摺石 中老尺七寸 厚老尺二寸
 長四尺五寸妻入口ノ分地覆石ハ 中老尺七寸 厚老尺七寸五分 長三尺四寸七分式本繼
 キ左右戸摺石 中老尺二寸 厚老尺二寸五分 長四尺五寸図面ノ通り切欠キ上端及ビ
 見ヘ掛リ三返小叩キ合口其他仕方前全斷地覆石上端ヘ戸摺線
 路ニタ通ヅ、取付留鉄物鉛ニテ留付ケスベシ
 内部通路左右柱沓石前全石 中老尺壹寸五分 厚老尺壹寸 全左右及両妻戸
 摺際共縁石前全石 中老尺壹寸五分 厚老尺壹寸 長式尺四寸以上何レモ身ヘ掛リ及上
 端共式返小叩キ面取下端其他荒鑿切合口小叩キニスベシ
 床束石前全石 中老尺八寸 厚老尺八寸 上端及下端共中鑿切ニスベシ
 出入口登リ橋側廻リ縁石前全石大サ図面ニ倣ヒ見ヘ掛リ小鑿
 切角下面及合口小叩キ其他荒鑿切ニスベシ
 窓台石階下階上共前全石 中老尺式寸六分 厚老尺式寸五分 階上ノ分ハ 中老尺九寸 厚老尺七寸五分 長
 何レモ四尺六寸式分図面ニ倣ヒ切欠キ見ヘ掛リ數返小叩キノ上水
 磨キ致シ其他中鑿切ニスベシ
 両妻化粧窓形楔石前全石厚七寸其他大サ図面ノ通り外



煉化壁ハ平積ニシテ見ヘ掛リ三返小叩キ其他前全断鑿切ニスベシ
 積込石中通リ左右敷梁受両妻積込石 中巻尺七寸 長巻
 尺五寸式階梁受積込石 中巻尺七寸四分 厚六寸五分
 何レモ前全石使用上端小
 叩キ其他中鑿切植込ミ「ホールト」穴彫共スベシ
 堅樋受石前全石 五寸 長尺參寸見ヘ掛リ小叩キ上端溝線
 リ其他前全断致スベシ
 石材据付ノ部
 側廻リ根石及腰石并ニ通路左右柱沓石全縁石其他共石
 材総テ合口縦横沓分五厘ニ切分ケ下端ヘ「モルタル」充分敷込ミ
 据付堅合口ハ上端ヨリ「モルタル」充分ニ注入シ目地「セメント」ニテ沓
 分沈ミニ筋塗リ手際良ク致シ見付総体水洗ヒ掃除共指図
 ノ通リスルモノトス
 煉化工（根積及側壁）ノ部
 煉化疊積工事根積及腰積ハ左記ノ通りニシテ「コンクリート」上
 端ヨリ煉化石ヲ「モルタル」ニテ累積スルモノトス
 一 側廻リ根積 総高 四段 内 長手 五枚 一段
 長手 四枚半 一段
 一 側入口地覆石下 総高 七段 内 長手 五枚 一段
 長手 四枚半 一段
 長手 四枚 三段
 一 側廻リ根石裏 総高 七段 図面ノ通り
 一 側廻柱形下積出シ 総高 四段 半枚積出シ 中長手 五枚 一段
 中長手 四枚半 一段
 一 全隅柱形下積出シ 全 上 半枚積出シ 桁行ノ方 中長手 五枚半 二段
 中長手 五枚 一段
 中長手 六枚 一段
 中長手 五枚半 二段

側廻リ煉化壁ハ平面図ニ示ス如ク左記ノ壁厚サニ基礎上端ヨリ



煉化石ヲ「モルタル」ニテ累積スルモノトス

側廻リ前面及背面両妻共階下 壁厚長手 貳枚半

全上階上 // 貳枚

両妻 薨 // 壹枚半

側廻リ根積 壁圧図面ノ通り

累積法ハ（根積其他共）全部英式ニシテ図面ノ通り壁外部ニ柱形及胴蛇腹并軒蛇腹形共積出シ出入口及窓上部并妻化粧

凹窓形、床下風窓、側廻階上下空気抜、内面等ハ迫持積壁外面洗ヒ出シ内面漆喰塗下タトス

遣形（煉化積）要所示定ノ位置へ指図ノ通り取設目盛ヲナシ

迫持其他異形ヲ要スル煉化石ハ勿論此他ニ於テモ使用ノ場所ニ依リ指図ニ従ヒ煉化拵致シ煉化ハ使用ノ際淡水中ニ充分浸

シ附着セル塵埃ヲ除去シ使用スルモノニシテ決シテ乾燥ノ俣用ユルヲ許サズ而シテ目地縦横共貳分五厘トシ每段遣形ヨリ白糸張

通シ全部可成一様ニ積上クルヲ要ス故ニ止ヲ得ザレバ拾五段以内ニ積廻リ接続ノ部分ハ階段状ヲナシ中積ハ「モルタル」充分注入シ入念

累積シ若シ壁面へ「モルタル」等附着スルトキハ即時淡水ニテ洗滌スルモノトス

外部目地ハ「モルタル」ノ適度ニ乾燥シタルトキ少シク彫取り更ニ「セメント」五厘沈ミニニ手際良ク目地塗リヲ施工スルモノトス

壁出来ノ部分ハ角々及出入口並ニ窓縁リ石材等ハ他物ノ撃觸欠損ヲ禦クタメ工事中適応ノ予防ヲナシ置キ又日々終業ニ先ケ

煉化石ヲ「モルタル」ニテ累積スルモノトス
側廻リ前面及背面両妻共階下 壁厚長手 貳枚半
全上階上 // 貳枚
両妻 薨 // 壹枚半
側廻リ根積 壁圧図面ノ通り
累積法ハ（根積其他共）全部英式ニシテ図面ノ通り壁外部ニ柱形及胴蛇腹并軒蛇腹形共積出シ出入口及窓上部并妻化粧
凹窓形、床下風窓、側廻階上下空気抜、内面等ハ迫持積壁外面洗ヒ出シ内面漆喰塗下タトス
遣形（煉化積）要所示定ノ位置へ指図ノ通り取設目盛ヲナシ
迫持其他異形ヲ要スル煉化石ハ勿論此他ニ於テモ使用ノ場所ニ依リ指図ニ従ヒ煉化拵致シ煉化ハ使用ノ際淡水中ニ充分浸
シ附着セル塵埃ヲ除去シ使用スルモノニシテ決シテ乾燥ノ俣用ユルヲ許サズ而シテ目地縦横共貳分五厘トシ每段遣形ヨリ白糸張
通シ全部可成一様ニ積上クルヲ要ス故ニ止ヲ得ザレバ拾五段以内ニ積廻リ接続ノ部分ハ階段状ヲナシ中積ハ「モルタル」充分注入シ入念
累積シ若シ壁面へ「モルタル」等附着スルトキハ即時淡水ニテ洗滌スルモノトス
外部目地ハ「モルタル」ノ適度ニ乾燥シタルトキ少シク彫取り更ニ「セメント」五厘沈ミニニ手際良ク目地塗リヲ施工スルモノトス
壁出来ノ部分ハ角々及出入口並ニ窓縁リ石材等ハ他物ノ撃觸欠損ヲ禦クタメ工事中適応ノ予防ヲナシ置キ又日々終業ニ先ケ



雨霜其他ノ浸害ヲ予防スルタメ積終リ部分ノ上部ヲ苫或ハ板等ニテ覆ヒ置クモノトス

石材及鉄材等壁中ニ積込ムモノハ其職ト打合セ不都合ナキ様積上クルモノトス

「モルタル」ノ部

側廻根石、腰石、内部通路左右柱沓石全縁石、入口地覆石、全登リ橋縁石、床束石、積込石、其他石材据付用并地中根積石裏、腰積等累積用「モルタル」ハ左ノ調合ニシテ入念練合セ使用スベシ

一 「セメント」 壹

一 川 砂 参

側廻リ及妻薨壁累積用「モルタル」ハ左ノ調合ニテ前全断練合セ使用スベシ

一 「セメント」 壹

一 生石灰 貳

一 川 砂 五

前記「コンクリート」及「モルタル」用砂ハ川砂篩上洗砂塩分ナキ物ヲ使用スベシ

木工ノ部

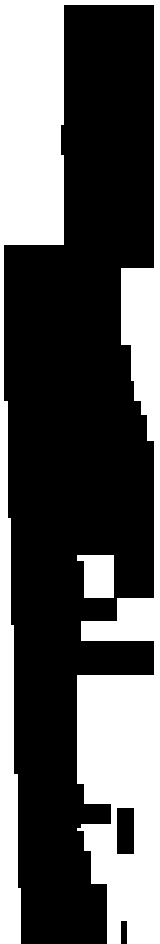
通路左右管柱杉削立テ八寸角仕口致上下柄付取建テ全左右敷梁松削立テ

中八寸五分
セイ一尺五分 仕口切刻ミ継手柱上ニテ台持継架渡シ継手

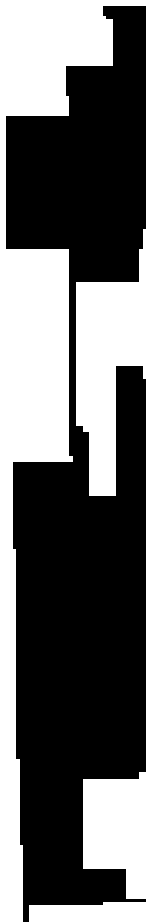
毎ニ「ポールト」ニ本ニテ締付両端壁積込ハ植込「ボルド」ニテ締堅メ全下端方杖全

三寸五分
四寸二分 仕口致シ上下柄指シ上モ下モ「ポールト」ニテ締堅メ

...



一 梁端松削立 七寸五分 仕口切刻ミ継手追掛大栓貳本打敷梁
 上端ニテ継渡シ五尺四寸間以内ニ（両妻壁付共）置渡シ両端
 壁積込ハ植込「ボールト」ニテ締付ケ階上昇降口周囲框全 七寸五分
 仕口切刻両端其他取合影入蟻掛ニ仕合仕口毎ニ羽子板形「ボールト」
 両面ヘ当テ締付ケ荷揚口廻リ框全 六寸五分 桁行ノ分 六寸五分 仕口切刻
 板掛及揚蓋決リ共致シ隅々入輪留メ柄指シ梁間ノ分ハ両端蟻
 掛其他ハ敷梁上端ヘ太柄立テ逆目付大釘打取付ケ
 敷桁側通ニシテ松削立六寸角仕口切刻継手鉄輪ニシテ置渡シ敷
 桁軒桁「アイダ」束同四寸九分角仕口致シ上下柄付込栓打ニシテ陸
 梁間タ毎ニ巻ケ所ヅ、建込綿板杉八分板削リ四分小穴ニ入レ釘
 打堅メ取付クベシ
 一 小屋梁レ陸松削立テ 六尺式寸 仕口切刻継手長四尺台持目違入
 五寸五分 栓打両端蟻付渡腮ニシテ図面ニ倣ヒ架渡シ継手下端短冊座
 鉄仕付梁上端添木全 三寸 仕口致シ両端柄指中央ノ分ハ「ボールト」
 六本ニテ締付ケ鯨栓打堅メ取付ベシ
 一 全真束松削立 七寸五分 上下杵形ニ造リ仕口切刻柄付取建テ下モ
 五寸五分 梁釣箱鉄物取付鉄楔打締メ第壹釣束全 六寸五分 第貳釣束
 五寸五分 全 何レモ上下杵形ニ造リ仕口致シ柄付取建下モ箱鉄物前
 全断取付上之録形短冊鉄物「ボールト」貳本ニテ締付ケルモノトス
 全合掌松削立 八寸 仕口切刻ミ上之柄指シ下モ鞍掛ケニシテ取
 五寸五分 建テ踏止メ「ボールト」締堅メ頭部一ノ字繫鉄物両面ヘ当テ「ボ
 ルト」三本ニテ締付ケ方杖削レ松立大サ第一 五寸五分 第二 四寸五分 第三 三寸五分
 五寸五分



何レモ仕口切刻ミ上下柄指シ取建テ鏡形鉄物両面へ当テ上下へ取り

付ケ逆目釘打堅メ致スベシ

全挟梁松削立^{八寸}仕口切刻ミ合掌其他当リ欠合セ両面ヨリ抱合

「ボルト」九本ニテ締付ケ梁挟全^{五寸}仕口切刻ミ継手追掛ケ割

継ニシテ第二釣束根元及挟梁上端（真束横面等へ）抱合セ三ト

通り釣束根元ノ分ハ添木上端へ真束脇ノ分ハ挟梁へ何レモ渡腮ニ

仕掛ケ置渡シ束毎ニ「ボルト」ニテ締付ケスベシ

軒桁松削立五寸角仕口切刻上端勾配付継手梁真ニテ追掛大栓

二本打渡腮ニ仕掛ケ肉付渡リ五寸手違ヒ見へ隠レヨリ梁毎ニ式丁

ヅ、打堅メ母屋全^{六寸五分}仕口切刻ミ継手合掌真ニ前全断渡腮

ニ仕掛ケ合掌毎ニ逆目付大釘貳本ヅ、忍ニ打転止メ全四寸角長八

寸上端殺キ太柄立テ取付脳天ヨリ前全釘二本ヅ、打堅メ棟木全^{六寸}

^{五分}仕口切刻ミ上端勾配付榑彫致シ継手束真ニテ母屋全断（束

頭ワナギ）渡腮ニ架渡シ前全釘打堅メ棟下挟方杖全^{四寸}長五

尺以上仕口致シ上下欠合セ逆目釘巾ニ式本ヅ、当リ毎ニ打取付ケスベシ

榑松削立^{二寸三分}面戸切継手母屋上端ニテ殺継ギ図面ニ倣ヒ

置渡シ釘彫ノ上母屋棟軒桁毎ニ脳天ヨリ大釘打取付軒先面戸

板杉六分板削切込縫釘打兩妻母屋「アイダ」登リ面戸板松^{中八寸}

削リ両端小穴ニ入レ釘打取付ケベシ^{厚八分}

屋根裏板松六分板巾卷尺傍取り片面削リ迂リ刃付羽重ネ八分

以上掛合刃通り良ク釘卷寸五分間以内ニ打張立テスベシ

階下床通路左右及兩妻戸摺際共榑松削立テ^{六寸}仕口切刻ミ板^{五寸}

何レモ仕口切刻ミ上下柄指シ取建テ鏡形鉄物両面へ当テ上下へ取り

付ケ逆目釘打堅メ致スベシ

全挟梁松削立^{八寸}仕口切刻ミ合掌其他当リ欠合セ両面ヨリ抱合

「ボルト」九本ニテ締付ケ梁挟全^{五寸}仕口切刻ミ継手追掛ケ割

継ニシテ第二釣束根元及挟梁上端（真束横面等へ）抱合セ三ト

通り釣束根元ノ分ハ添木上端へ真束脇ノ分ハ挟梁へ何レモ渡腮ニ

仕掛ケ置渡シ束毎ニ「ボルト」ニテ締付ケスベシ

軒桁松削立五寸角仕口切刻上端勾配付継手梁真ニテ追掛大栓

二本打渡腮ニ仕掛ケ肉付渡リ五寸手違ヒ見へ隠レヨリ梁毎ニ式丁

ヅ、打堅メ母屋全^{六寸五分}仕口切刻ミ継手合掌真ニ前全断渡腮

ニ仕掛ケ合掌毎ニ逆目付大釘貳本ヅ、忍ニ打転止メ全四寸角長八

寸上端殺キ太柄立テ取付脳天ヨリ前全釘二本ヅ、打堅メ棟木全^{六寸}

^{五分}仕口切刻ミ上端勾配付榑彫致シ継手束真ニテ母屋全断（束

頭ワナギ）渡腮ニ架渡シ前全釘打堅メ棟下挟方杖全^{四寸}長五

尺以上仕口致シ上下欠合セ逆目釘巾ニ式本ヅ、当リ毎ニ打取付ケスベシ

榑松削立^{二寸三分}面戸切継手母屋上端ニテ殺継ギ図面ニ倣ヒ

置渡シ釘彫ノ上母屋棟軒桁毎ニ脳天ヨリ大釘打取付軒先面戸

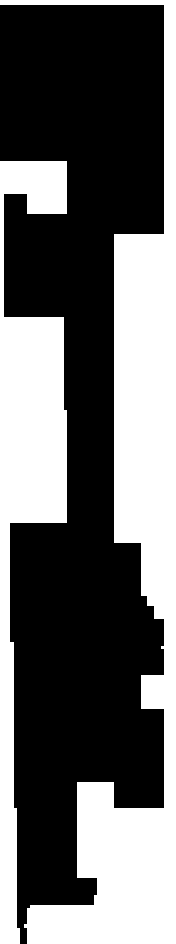
板杉六分板削切込縫釘打兩妻母屋「アイダ」登リ面戸板松^{中八寸}

削リ両端小穴ニ入レ釘打取付ケベシ^{厚八分}

屋根裏板松六分板巾卷尺傍取り片面削リ迂リ刃付羽重ネ八分

以上掛合刃通り良ク釘卷寸五分間以内ニ打張立テスベシ

階下床通路左右及兩妻戸摺際共榑松削立テ^{六寸}仕口切刻ミ板^{五寸}



決り致シ大面取り兩端尾入柄差シ兩妻戸摺際ノ処ハ隅々留柄
指割楔打堅メ大引栗^中押五寸角仕口切刻ミ石口仕合継手
束石上ニテ敷面鎌繼ニシテ三尺六寸間以内ニ置渡シ継手毎ニ渡
五寸餘二丁ヅ、打堅メ根太松^{二寸五分} 上端削リ継手大引上端ニテ乱繼
キ大引へ渡腮へ仕掛ケ卷尺五寸間以内ニ置渡シ大引毎ニ釘貳本ヅ、
打付ケ階段彫桁当リ増根太（大引全木）指図ニ從ヒ切込ミ床板松
^{中七寸} 二間片面削リ傍合決リ継手根太上ニテ合欠キ乱繼ギ釘卷
寸五分間以内ニ根太其他毎ニ打不陸無之様張立テ廻リ雜巾摺リ
松削立貳寸角大面取り継手目違入隅々入輪留メ床板へ小穴ニ入レ
釘打取付ケベシ

階上床根太松削立テ^{四寸五分} 兩端蟻付影入仕合卷尺五寸間以
内ニ仕掛ケ大釘打堅メ床板及雜巾摺共木品寸面仕様前全断（
床板ハ両面削リ）釘打張立テ昇降口廻リ付縁チ松削立^{五寸}
板掛決リ及繰形付隅々入輪留メ下端太柄立テ逆目付大釘打取
付ケスベシ

出入口枳草榎削立テ堅枳^{四寸三分} 上之弧形枳全寸貳本繼
ギ欄間楣^{七寸} 欄間中束^{三寸} 図面ノ通り仕口切刻ミ廻リ二枚柄指シ
上之留メニ切合セ弧形枳継手ハ棹柄鯨栓打柄先何レモ割楔打堅
メ建込ミ止メ鉄物五ヶ所ヅ、壁中へ積込ミ逆目釘ニテ指図ノ通り打
付ケスベシ

全付鴨居松削立^{六寸五分} 木拵へ溝決リ左右戸当り全^{六寸五分} 上下柄
指シ組立植込ミ「ボールト」八ヶ所ニテ締堅メ楣当りへ大釘付釘頭

決り致シ大面取り兩端尾入柄差シ兩妻戸摺際ノ処ハ隅々留柄

指割楔打堅メ大引栗^中押五寸角仕口切刻ミ石口仕合継手

束石上ニテ敷面鎌繼ニシテ三尺六寸間以内ニ置渡シ継手毎ニ渡

五寸餘二丁ヅ、打堅メ根太松^{二寸五分} 上端削リ継手大引上端ニテ乱繼

キ大引へ渡腮へ仕掛ケ卷尺五寸間以内ニ置渡シ大引毎ニ釘貳本ヅ、

打付ケ階段彫桁当リ増根太（大引全木）指図ニ從ヒ切込ミ床板松

^{中七寸} 二間片面削リ傍合決リ継手根太上ニテ合欠キ乱繼ギ釘卷

寸五分間以内ニ根太其他毎ニ打不陸無之様張立テ廻リ雜巾摺リ

松削立貳寸角大面取り継手目違入隅々入輪留メ床板へ小穴ニ入レ

釘打取付ケベシ

階上床根太松削立テ^{四寸五分} 兩端蟻付影入仕合卷尺五寸間以

内ニ仕掛ケ大釘打堅メ床板及雜巾摺共木品寸面仕様前全断（

床板ハ両面削リ）釘打張立テ昇降口廻リ付縁チ松削立^{五寸}

板掛決リ及繰形付隅々入輪留メ下端太柄立テ逆目付大釘打取

付ケスベシ

出入口枳草榎削立テ堅枳^{四寸三分} 上之弧形枳全寸貳本繼

ギ欄間楣^{七寸} 欄間中束^{三寸} 図面ノ通り仕口切刻ミ廻リ二枚柄指シ

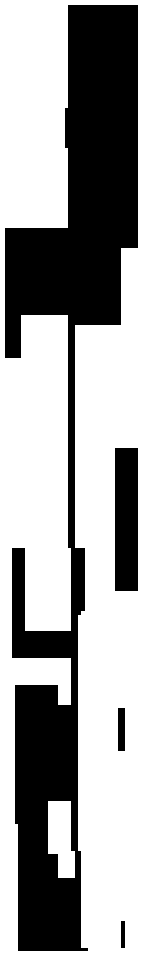
上之留メニ切合セ弧形枳継手ハ棹柄鯨栓打柄先何レモ割楔打堅

メ建込ミ止メ鉄物五ヶ所ヅ、壁中へ積込ミ逆目釘ニテ指図ノ通り打

付ケスベシ

全付鴨居松削立^{六寸五分} 木拵へ溝決リ左右戸当り全^{六寸五分} 上下柄

指シ組立植込ミ「ボールト」八ヶ所ニテ締堅メ楣当りへ大釘付釘頭



埋沈メ中央戸当リ鉄物指図ノ通り仕拵ヘ取付クベシ

側窓枠階上階下共中草榎削立テ堅箱枠図面ノ如ク

【図省略】原一寸二分 中四寸 上之弧形枠 四寸三分 下モ枠 四寸 階上ノ分

ハ老尺一寸五分 四寸何レモ図面及指図ノ通り仕口切刻ミ箱指トナシ釘

打堅メ上下柄指組立テ割楔打取建テ止メ鉄物四ヶ所ヅノ前全斷

積込ミ逆目釘打堅メ分銅出シ入口「ケントン」蓋ニ致シ嵌込付溝

取付正壹寸真鍮捻鋌ニテ壹尺間以内ニ締付分銅隔板杉四分板

削銅線壹匁引式本燃リニシテ式ヶ所ヅノ釣込致スベシ

階段彫桁松削立老尺式寸 參寸五分仕口切刻ミ段板全老尺式寸 貳寸前面繰形

付兩端彫込繫材全三寸 二寸五分及上下ノ分ハ一吋五分 五寸板決リ致シ兩端引

独鉋ニテ登リ六尺間以内ニ取付縫釘打堅メ中央段板受全三寸六分 四寸仕

口切刻板決リ上下柄指シ登リニ取付釘打堅メ彫桁繫「ボールト」桁

外面ヨリ貫通シ兩端頭彫沈メ四ヶ所締付ヶ階段裏板杉六分

板巾壹尺両面削傍江リ刃付ヶ羽重ネ六分以上掛合セ釘打張立

取建テ彫桁受梁ヘ羽子板形「ボールト」ニテ締付ヶ手摺親柱松削

立（階上昇降口周圍共）四寸角仕口致シ匙面取り上頭巾ニ切付ヶ下モ

長柄差シ込栓打階下ノ分ハ彫桁へ蟻ニ仕合セ増根太下端迄貫

通シ鼻栓留メニニ致シ地覆松削立テ三寸六分角仕口致シ兩端尾

入柄指シ手摺子全貳寸貳分角匙面取り上下柄指シ壹本置ニ込栓

打堅メ手摺全三寸五分 三寸仕口切刻匙面取り兩端尾入柄指シ込栓打

堅メスベシ

建具之部

器具

器具

器具

器具

器具



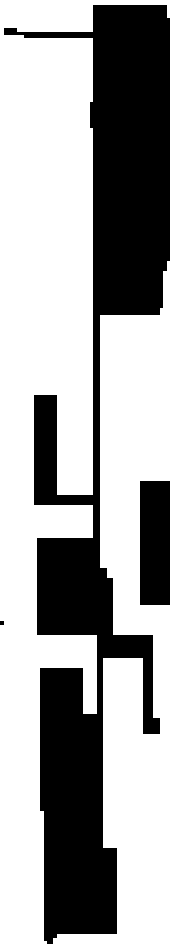
運地、其及廻子、皮鞆、上段、一、具、棟、棟、由、取、柄、指、ニ、シ、テ、組
立、テ、割、楔、打、硝、子、板、厚、並、壹、分、泡、村、ナ、シ、切、合、敷、パ、テ、致、嵌、込、ミ、垂
鉛、三、角、釘、打、パ、テ、付、建、込、釘、打、左、右、四、分、一、木、打、付、硝、子、板、清、拭、内、面、網
張、前、全、銅、網、障、子、へ、張、付、ケ、周、圍、四、分、一、木、打、付、ク、ベ、シ

窓、上、下、グ、硝、子、障、子、階、上、階、下、共、前、全、木、削、立、テ、図、面、ノ、通、リ、堅
框、式、寸、五、分、上、之、及、下、框、式、寸、五、分、組、子、壹、寸、壹、分、見、込、何、レ、モ、壹、寸、式、分、召
合、框、二寸五分 框、廻、リ、式、枚、組、子、壹、枚、柄、猿、類、面、取、リ、其、他、仕、口、硝、子、板、一尺八分
テ、付、共、総、テ、欄、間、硝、子、戸、全、断、仕、拵、ヒ、建、合、真、鍮、刃、車、彫、込、捻、鋌
ニ、テ、取、付、鑄、鉄、分、銅、円、壹、寸、四、分、長、指、図、ノ、通、リ、鑄、造、致、シ、八、ツ
擦、麻、網、ニ、テ、釣、込、ミ、真、鍮、製、締、リ、金、物、及、手、掛、金、物、共、取、付、ケ、硝
子、板、清、拭、致、シ

荷、揚、口、格、子、蓋、松、材、ニ、テ、削、立、テ、廻、リ、框、二寸六分 格、子、格、二寸六分
下、端、猿、類、面、取、リ、明、キ、壹、寸、六、分、間、以、内、ニ、割、合、セ、通、シ、貫、二寸
三、通、何、レ、モ、仕、口、切、刻、框、廻、リ、及、格、子、格、共、柄、差、シ、組、立、テ、割、楔、打
堅、メ、取、外、シ、ニ、嵌、合、ス、ベ、シ

窓、鉄、格、子、ノ、部
階、下、格、子、煉、鉄、円、壹、五、分、丸、棒、九、本、ヅ、(壹、ケ、所、ニ) 割、合、鉄、貫
中、壹、寸、四、分 六、通、(上、之、貫、弧、形) 堅、格、壹、本、置、ニ、上、下、「カ、ラ、ク、リ」下
乙、二、分、五、厘 毛、台、石、へ、彫、込、其、他、目、地、へ、積、込、取、付、ケ、ベ、シ

鉄、扉、之、部
出、入、口、側、通、リ、及、両、妻、共、扉、鉄、製、両、開、キ、四、枚、折、リ、周、圍、七、寸
形、壹、寸、八、分 厚、壹、分、五、厘、以、上、之、弧、形、ニ、撓、メ、繼、手、及、隅、々、「ワ、カ、シ」付、横



骨 一 寸五分 五通り扉板鉄厚八厘綴釘煉鉄円圣二分巨離一
寸二分間以内ニ割合セ榎廻リ及横骨当タリへ「カラクリ」定規縁鉄
二 寸 前全断「カラクリ」取付ケ肘壺煉鉄図面ノ通り重
劣五厘
子参寸六分真鍮蛇ノ目厚式分押シ之老方煉化壁へ指図ノ
通り積込扉付ノ方ハ前全断横骨へ「カラクリ」取付門鉄製
図面ノ通円圣八分長三尺壺鉄厚三分五厘鉄板ニテ仕拵ヒ
「カラクリ」「アフリ」止メ及揚下ゲ鉄物共指図ノ通仕拵取付扉
釣込真鍮南京錠圣式寸五分モノ仕付ケ

窓両開練鉄製扉階上階下共周圍榎L字形寸面前全断
堅骨及横骨共 一寸分 扉鉄板厚八厘定規縁鉄 一寸五分
何レモ図面ノ通り仕方前全断「カラクリ」仕拵肘壺重ネ三寸
式分前全断仕拵釣込「アフリ」止メ図面ノ通り三ツ折蝶番
形ニ煉鉄ニテ造リ取付締リ竿掛金及壺共指図ニ従ヒ仕拵
取付階上ノ分ハ締リ門練鉄円圣六分指図ノ通仕拵取付ケベシ
風窓及空気抜ノ部

側廻リ床下風窓兼階下入気穴及階上側通り并両妻円状
空気抜共防火鉄物両妻ノ分ハ内外側鉄板厚式分五厘以上周
圍溝鉄ヲ用ヒ所々指図ノ通り「カラクリ」其他ハ(煉鉄製ニシテ内
部鉄管入違ヒ)専売出来合品鑄止メペンキ塗り煉化壁
中へ積込階下入気穴内側銅網張銅線直圣三厘モノ四分目龜
甲形ニ編ミ立壁内面張付廻リ留釘壁目地へ打付ケベシ
但シ妻ノ分留鉄物指図面ノ通仕拵へ四ヶ所ゾ、取付ケ積込ミスベシ

出入口底ノ部

一 此ノ部ニテ其他共松材ニテ削立壁付下ケ束^{四寸} 登リ木^{三寸} 五分 腕木^{三寸五分} 方丈三寸角何レモ図面ノ通り仕口切刻ミ匙面取り柄指込栓打堅メ下ケ束ハ積込ミ「ホールト」式本ニテ締付母屋松全^{三寸五分} 匙面取り登リ木当リ欠合仕掛ケ大釘打取付板掛全^{三寸五分} 上端勾配付仕口切刻架渡シ「ポールト」四本ニテ締付ケ(板掛壁間ダ)皿板杉厚六分削切込全板受松厚壹寸壹尺間以内ニ切込釘打取付榿形杉厚壹寸巾四寸五分削釘打取付屋根板式拾六番亜鉛鍍波形状鉄板相用ヒ傍軒両耳巻込童子二タ山以上重ネ掛ケ亜鉛鍍鉄板ニテ二タ山置二打付重子壹尺間以内ニ押鉦ニテ「カラクリ」鉦頭総テ「ハンダ」付致シ葺止メ雨押杉^{四寸} 切込取付上端式拾七番全鍍平鉄板ニテ折曲ゲ壁目地へ壹寸以上指込壹方波形上端へ三寸通り張掛ケ継手式寸重ネ波形状際及継手共総テ指図ノ通り「ハンダ」付致シ釣鉄棒図面ノ通り四ヶ所上部ハ積込「ホールト」ニテ締付下部へ「ホールト」母屋下端迫指通シ「メニー」飼締付ケスベシ

小屋其他鉄物ノ部

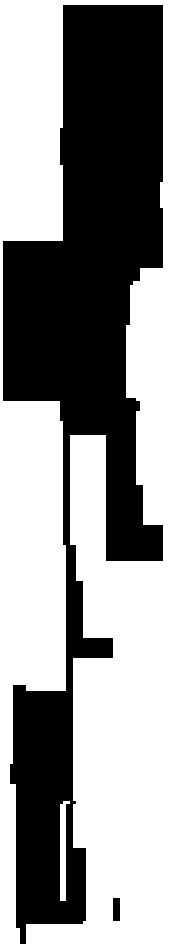
敷梁継手「ホールト」円聖六分両妻積込ノ分ハ円聖全寸下モ逆目付受石へ植込鉛注入廻リ打堅メ全梁下方杖締付「ポールト」円聖六分二階梁両端積込「ポールト」円聖六分仕方前積込「ポールト」全断鉛注入シ締堅メ昇降口周圍框用羽子板形

出入口底ノ部

一 庇シ持送り其他共松材ニテ削立壁付下ケ束^{四寸} 登リ木^{三寸} 五分 腕木^{三寸五分} 方丈三寸角何レモ図面ノ通り仕口切刻ミ匙面取り柄指込栓打堅メ下ケ束ハ積込ミ「ホールト」式本ニテ締付母屋松全^{三寸五分} 匙面取り登リ木当リ欠合仕掛ケ大釘打取付板掛全^{三寸五分} 上端勾配付仕口切刻架渡シ「ポールト」四本ニテ締付ケ(板掛壁間ダ)皿板杉厚六分削切込全板受松厚壹寸壹尺間以内ニ切込釘打取付榿形杉厚壹寸巾四寸五分削釘打取付屋根板式拾六番亜鉛鍍波形状鉄板相用ヒ傍軒両耳巻込童子二タ山以上重ネ掛ケ亜鉛鍍鉄板ニテ二タ山置二打付重子壹尺間以内ニ押鉦ニテ「カラクリ」鉦頭総テ「ハンダ」付致シ葺止メ雨押杉^{四寸} 切込取付上端式拾七番全鍍平鉄板ニテ折曲ゲ壁目地へ壹寸以上指込壹方波形上端へ三寸通り張掛ケ継手式寸重ネ波形状際及継手共総テ指図ノ通り「ハンダ」付致シ釣鉄棒図面ノ通り四ヶ所上部ハ積込「ホールト」ニテ締付下部へ「ホールト」母屋下端迫指通シ「メニー」飼締付ケスベシ

小屋其他鉄物ノ部

敷梁継手「ホールト」円聖六分両妻積込ノ分ハ円聖全寸下モ逆目付受石へ植込鉛注入廻リ打堅メ全梁下方杖締付「ポールト」円聖六分二階梁両端積込「ポールト」円聖六分仕方前積込「ポールト」全断鉛注入シ締堅メ昇降口周圍框用羽子板形



「ボールト」円聖五分老方瓜造逆目釘長式寸ニテ式寸間以内ニ打付ケ

陸梁

陸梁継手下端短冊座鉄巾中二十六分 長延五尺五寸以上両

端瓜造り全締付「ボールト」円聖六分真束下モ梁鈔箱鉄

物式寸五分 長延六尺以上図面ノ通り鍔形開止メ上下へ挿

入鉄楔打堅メ其他前全逆目釘三本ヅ、打付ケ鈔下モ鈔

箱鉄物中二十二分 長延四尺七寸以上仕方前全断取付ケ全上

部鍔形短冊鉄物中二十二分 両端瓜造り両面へ充テ「ボールト」

円聖五分ニテ締付ケ合掌頭部一ノ字形繁鉄物中四分 長

老尺七寸以上両端瓜造り「ボールト」円聖六分ニテ締付ケ全踏止

メ「ボールト」円聖六分ニテ締堅メ第壹、第二、第三、方丈上下鍔

形鉄物中八分 長延老尺以上両端瓜造り前全逆目釘

式寸間以内ニ打取付ケ挟梁締付「ボールト」円聖六分ニテ締

堅メ梁挟取付「ボールト」円徑五分ニテ締付ケスベシ

出入口及窓枠取付積込鉄物煉鉄中老八分 【図省略】 長延一

尺以上前全逆目釘打堅メ出入口鴨居戸当り取付積込「ボ

ールド」円聖三分長延老尺八寸以上指図ニ従ヒ仕拵積込締付ベシ

出入口（総テ）戸摺線路煉鉄四分 留鉄八寸間以内ニ「カラクリ」

取付留鉄地覆石へ彫込ミ鉛注入廻リ打堅メ戸下モ摺刀

車鑄鉄枠付車聖式寸式分鉄捻鉋ニテ取付ケスベシ

階段彫桁取付羽子板形「ボールト」聖五分其他仕方取付共前

羽子板「ボールト」全断ニシテ逆目釘打堅メ全繫キ「ボールト」聖五分

...

...

...

...

「ボールト」円聖五分老方瓜造逆目釘長式寸ニテ式寸間以内ニ打付ケ

陸梁

陸梁継手下端短冊座鉄巾中二十六分 長延五尺五寸以上両

端瓜造り全締付「ボールト」円聖六分真束下モ梁鈔箱鉄

物式寸五分 長延六尺以上図面ノ通り鍔形開止メ上下へ挿

入鉄楔打堅メ其他前全逆目釘三本ヅ、打付ケ鈔下モ鈔

箱鉄物中二十二分 長延四尺七寸以上仕方前全断取付ケ全上

部鍔形短冊鉄物中二十二分 両端瓜造り両面へ充テ「ボールト」

円聖五分ニテ締付ケ合掌頭部一ノ字形繁鉄物中四分 長

老尺七寸以上両端瓜造り「ボールト」円聖六分ニテ締付ケ全踏止

メ「ボールト」円聖六分ニテ締堅メ第壹、第二、第三、方丈上下鍔

形鉄物中八分 長延老尺以上両端瓜造り前全逆目釘

式寸間以内ニ打取付ケ挟梁締付「ボールト」円聖六分ニテ締

堅メ梁挟取付「ボールト」円徑五分ニテ締付ケスベシ

出入口及窓枠取付積込鉄物煉鉄中老八分 【図省略】 長延一

尺以上前全逆目釘打堅メ出入口鴨居戸当り取付積込「ボ

ールド」円聖三分長延老尺八寸以上指図ニ従ヒ仕拵積込締付ベシ

出入口（総テ）戸摺線路煉鉄四分 留鉄八寸間以内ニ「カラクリ」

取付留鉄地覆石へ彫込ミ鉛注入廻リ打堅メ戸下モ摺刀

車鑄鉄枠付車聖式寸式分鉄捻鉋ニテ取付ケスベシ

階段彫桁取付羽子板形「ボールト」聖五分其他仕方取付共前

羽子板「ボールト」全断ニシテ逆目釘打堅メ全繫キ「ボールト」聖五分

...

...

...

...

ニテ締付ケスベシ

一 庇シ壁付下束及板掛取付「ボールト」円聖五分長卷尺五寸以上積込締付ケ全鈎棒鉄聖八分長図面ニ倣ヒ上部積込「ボールト」聖五分長式尺式寸以上根割ニシテ積込壹方波形板取付ノ分ハ聖四分長図面ノ通り仕拵ヒ締付ケスベシ

一 屋根雪留鉄物煉鉄総高六寸暨及横骨共中卷寸「ボールト」座ニシテ寸面記載ナキ者ハ其大サ「ボールト」聖ノ四倍方形トシ厚ハ総テ二分ニスベシ又出入口鴨居及戸当取付「ボールト」座鉄八角ミ切ニシテ面取り「ボールト」頭共鈎掛ニ致

一 土居葺杉赤身勝山粉板ニテ軒先式夕重子葺足正卷寸六分銅釘小羽釘共登リ式夕重ネ毎ニ竹釘細カニ打葺立テ棟折全長板式枚重ネ杉皮入折掛押縁杉三分長式間繼手殺合種毎ニ釘打取付土止メ木全三分長式間土居葺上端へ卷尺五寸間以内ニ継手其他仕方前全断釘打取付ケ瓦棧漆喰ニテ築立テスベシ

一 屋根瓦葺ノ部
一 屋根瓦総体中面磨葉掛切込棧瓦相用ヒ片流レニ貳タ通ツ、専売雪止メ付全瓦ヲ使用堅横地割ヲナシ葺土厚式寸通り

一 漆喰ニテ築立テスベシ

ニテ締付ケスベシ

一 庇シ壁付下束及板掛取付「ボールト」円聖五分長卷尺五寸以上積込締付ケ全鈎棒鉄聖八分長図面ニ倣ヒ上部積込「ボールト」聖五分長式尺式寸以上根割ニシテ積込壹方波形板取付ノ分ハ聖四分長図面ノ通り仕拵ヒ締付ケスベシ

一 屋根雪留鉄物煉鉄総高六寸暨及横骨共中卷寸「ボールト」座ニシテ寸面記載ナキ者ハ其大サ「ボールト」聖ノ四倍方形トシ厚ハ総テ二分ニスベシ又出入口鴨居及戸当取付「ボールト」座鉄八角ミ切ニシテ面取り「ボールト」頭共鈎掛ニ致

一 土居葺杉赤身勝山粉板ニテ軒先式夕重子葺足正卷寸六分銅釘小羽釘共登リ式夕重ネ毎ニ竹釘細カニ打葺立テ棟折全長板式枚重ネ杉皮入折掛押縁杉三分長式間繼手殺合種毎ニ釘打取付土止メ木全三分長式間土居葺上端へ卷尺五寸間以内ニ継手其他仕方前全断釘打取付ケ瓦棧漆喰ニテ築立テスベシ

一 屋根瓦葺ノ部
一 屋根瓦総体中面磨葉掛切込棧瓦相用ヒ片流レニ貳タ通ツ、専売雪止メ付全瓦ヲ使用堅横地割ヲナシ葺土厚式寸通り

一 漆喰ニテ築立テスベシ

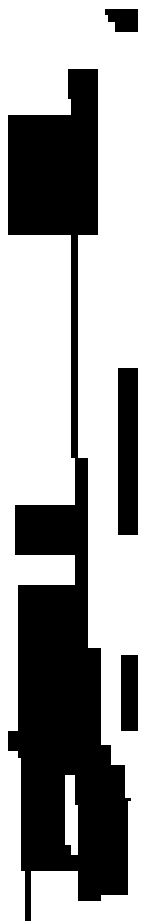


粘土へ藁切入敷度練返シ瓦及葺土共取揚軒先無
 地唐草巴付敷平入レ尅匆引銅線ニテ唐草尅枚ニ式ケ
 所ゾ、土止木へ繫付ケ棧瓦登リ五枚毎ニ尻釘(竹釘)長二
 寸五分打留メ付雪留付棧瓦ハ前全銅線ニテ唐草全断ニ
 繫付横足筋違足共通り良ク葺立テ棟五返全土ニテ築
 立テ雁振瓦共伏セ込雁振銘々前全銅線ニテ留付鬼瓦
 上磨キニ焼立テ前全銅線五筋懸ニテ繫付傍軒際
 風切丸瓦式夕登リゾ、通り良ク伏セ込ミ軒先巴仕舞ニシテ
 銘々銅線ニテ繫付クベシ
 屋根瓦漆喰之部

瓦漆喰ハ軒先及棟築地鬼瓦廻リ其他軒面戸廻リ等ニ
 シテ調合粉石灰尅石角又尅貫三百目苧切尅貫式百目水油
 一合ヲ加ヘ良ク練合セ都テ白漆喰三返塗仕上ゲトス
 軒樋堅樋ノ部
 軒樋釣鉄物煉鉄中六分
ア三分 足長尅尺式寸以上図面ノ通り
 仕拵ヘ三尺間以内ニ壁中へ積込軒樋亜鉛鍍鉄平板式拾四番
 相用ヒ半円兩縁円圣尅分鉄針金巻込継手尅寸重子掛ケ
 長三分銅押鉸ニテ尅寸間千鳥ニ「カラクリ」両面「ハンダ」付致シ
 架渡シ樋釣毎ニ銅押鉸指通シ「カラクリ」「ハンダ」付致シ堅
 樋及呼樋共前全板ニテ指図ノ通り折曲ゲ仕方前全断仕拵
 留メ鉄物前全鉄ニテ蝶番形ニ造リ足長前全断四尺間以
 内ニ積込留方スベシ

粘土へ藁切入敷度練返シ瓦及葺土共取揚軒先無
 地唐草巴付敷平入レ尅匆引銅線ニテ唐草尅枚ニ式ケ
 所ゾ、土止木へ繫付ケ棧瓦登リ五枚毎ニ尻釘(竹釘)長二
 寸五分打留メ付雪留付棧瓦ハ前全銅線ニテ唐草全断ニ
 繫付横足筋違足共通り良ク葺立テ棟五返全土ニテ築
 立テ雁振瓦共伏セ込雁振銘々前全銅線ニテ留付鬼瓦
 上磨キニ焼立テ前全銅線五筋懸ニテ繫付傍軒際
 風切丸瓦式夕登リゾ、通り良ク伏セ込ミ軒先巴仕舞ニシテ
 銘々銅線ニテ繫付クベシ
 屋根瓦漆喰之部

瓦漆喰ハ軒先及棟築地鬼瓦廻リ其他軒面戸廻リ等ニ
 シテ調合粉石灰尅石角又尅貫三百目苧切尅貫式百目水油
 一合ヲ加ヘ良ク練合セ都テ白漆喰三返塗仕上ゲトス
 軒樋堅樋ノ部
 軒樋釣鉄物煉鉄中六分
ア三分 足長尅尺式寸以上図面ノ通り
 仕拵ヘ三尺間以内ニ壁中へ積込軒樋亜鉛鍍鉄平板式拾四番
 相用ヒ半円兩縁円圣尅分鉄針金巻込継手尅寸重子掛ケ
 長三分銅押鉸ニテ尅寸間千鳥ニ「カラクリ」両面「ハンダ」付致シ
 架渡シ樋釣毎ニ銅押鉸指通シ「カラクリ」「ハンダ」付致シ堅
 樋及呼樋共前全板ニテ指図ノ通り折曲ゲ仕方前全断仕拵
 留メ鉄物前全鉄ニテ蝶番形ニ造リ足長前全断四尺間以
 内ニ積込留方スベシ



壁塗ノ部

一 壁塗内部総体側廻リ及薨等ニシテ隅々「チリ」決リ漆喰
塗厚五分下付ケ及村直シ(ノヤ)及中塗共砂漆喰定規摺致シ
上塗白漆喰塗鍍摺仕上ゲスベシ

一 但シ空氣拔廻リ指図ニ從ヒ玉縁塗致シ
漆喰ハ左ノ調合ニシテ練合セ使用スベシ

粉石灰	角	又	老	石
下附漆喰	角	又	老	貫二百目
村直シ及中	角	又	老	貫二百目
塗漆喰	角	又	老	貫二百目
上塗漆喰	角	又	老	貫二百目

粉石灰	角	又	老	石
下附漆喰	角	又	老	貫二百目
村直シ及中	角	又	老	貫二百目
塗漆喰	角	又	老	貫二百目
上塗漆喰	角	又	老	貫二百目

一 壁塗内部総体側廻リ及薨等ニシテ隅々「チリ」決リ漆喰
塗厚五分下付ケ及村直シ(ノヤ)及中塗共砂漆喰定規摺致シ
上塗白漆喰塗鍍摺仕上ゲスベシ

壁塗ノ部

一 壁塗内部総体側廻リ及薨等ニシテ隅々「チリ」決リ漆喰
塗厚五分下付ケ及村直シ(ノヤ)及中塗共砂漆喰定規摺致シ
上塗白漆喰塗鍍摺仕上ゲスベシ

一 但シ空氣拔廻リ指図ニ從ヒ玉縁塗致シ
漆喰ハ左ノ調合ニシテ練合セ使用スベシ

粉石灰	角	又	老	石
下附漆喰	角	又	老	貫二百目
村直シ及中	角	又	老	貫二百目
塗漆喰	角	又	老	貫二百目
上塗漆喰	角	又	老	貫二百目

粉石灰	角	又	老	石
下附漆喰	角	又	老	貫二百目
村直シ及中	角	又	老	貫二百目
塗漆喰	角	又	老	貫二百目
上塗漆喰	角	又	老	貫二百目

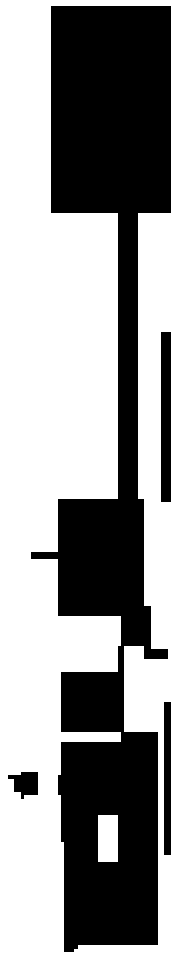
一 壁塗内部総体側廻リ及薨等ニシテ隅々「チリ」決リ漆喰
塗厚五分下付ケ及村直シ(ノヤ)及中塗共砂漆喰定規摺致シ
上塗白漆喰塗鍍摺仕上ゲスベシ

一 但シ空氣拔廻リ指図ニ從ヒ玉縁塗致シ
漆喰ハ左ノ調合ニシテ練合セ使用スベシ

ペンキノ部

一 ペンキ塗入口及窓棹鴨居戸当リ建具類共内外其他指
図ノケ所ペンキ塗木地掃除致シ南京ワニスニテ節止ヲナシ下
地老返塗立疵ヒビ割レ釘頭等へパテ詰込ミ紙鈎ニテ摺
磨普通調合色ペンキ上塗迄參遍塗立テスベシ

一 出入口及窓鉄扉并窓格子鉄空氣拔鉄物出入口庇シ鉄部



「コールタ」ノ部

「コールタ」塗枿廻り敷桁及梁鼻軒桁床大引根太床板裏
其他煉化石及石材へ接スルケ所并屋根土居葺上端総体
指図ノ通り上等「コールタ」老返塗立テスベシ

雑ノ部

内部通 ■間盛土厚五寸通り真土持込敷平均シ指図ニ従ヒ
小棒ニテ突締メスルモノトス

建方足代及登棧梯子取溜所其他諸足代等ハ指図ノ通
り架渡シ腕木布其他差支ヲ生スルトキハ其都度盛替足代
板時々必需ニ応シ芻子出シ無之様危険ノケ所ハ増縄致シ

又監督上便宜ノ場所へ梯子数ヶ所指図ニ従ヒ取設クルモノトス
本工事使用ノ木材ハ総テ大節流節死節折歪目等無之モノニシテ
入口及窓枠建具類板等ノモノハ上小節水氣去リ其他ハ総テ小節

材水氣去リ見へ掛リ丸身ナシ見へ隠レノケ所ハ多少ノ丸身ハ採
用スルコトモアルベシ又木部見へ掛リ全体上鉋削鯨栓類ハ堅
木ヲ用ヒ釘ハ煉鉄製ニシテ木厚ノ式倍半以上ヲ使用シ小屋其
他鉄物ハ「コールタ」焼塗「マンキ」塗下ハ錆止メ「メニー」塗ニシテ取付ケ

但シ材料ハ持込其都度検査ヲ受ケ使用シ又鉄物類ハ大色ノ
スベシ

等内外屋根雪留鉄物共前全色ペンキニ返塗立テ

但し前記鉄物類ハ錆止メ「メニー」ニ返塗ノ上鈎込ムベシ

「コールタ」ノ部

「コールタ」塗枿廻り敷桁及梁鼻軒桁床大引根太床板裏
其他煉化石及石材へ接スルケ所并屋根土居葺上端総体

指図ノ通り上等「コールタ」老返塗立テスベシ

雑ノ部

内部通 ■間盛土厚五寸通り真土持込敷平均シ指図ニ従ヒ
小棒ニテ突締メスルモノトス

建方足代及登棧梯子取溜所其他諸足代等ハ指図ノ通

り架渡シ腕木布其他差支ヲ生スルトキハ其都度盛替足代
板時々必需ニ応シ芻子出シ無之様危険ノケ所ハ増縄致シ

又監督上便宜ノ場所へ梯子数ヶ所指図ニ従ヒ取設クルモノトス
本工事使用ノ木材ハ総テ大節流節死節折歪目等無之モノニシテ

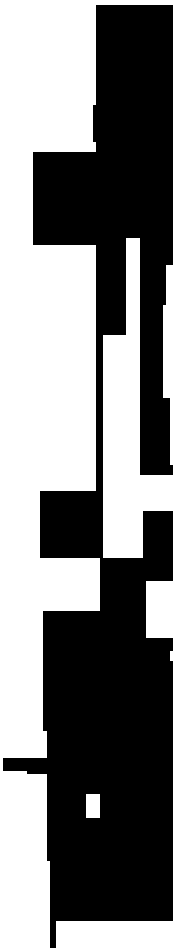
入口及窓枠建具類板等ノモノハ上小節水氣去リ其他ハ総テ小節
材水氣去リ見へ掛リ丸身ナシ見へ隠レノケ所ハ多少ノ丸身ハ採

用スルコトモアルベシ又木部見へ掛リ全体上鉋削鯨栓類ハ堅
木ヲ用ヒ釘ハ煉鉄製ニシテ木厚ノ式倍半以上ヲ使用シ小屋其

他鉄物ハ「コールタ」焼塗「マンキ」塗下ハ錆止メ「メニー」塗ニシテ取付ケ

但シ材料ハ持込其都度検査ヲ受ケ使用シ又鉄物類ハ大色ノ

スベシ



本持込ミ検査済ノ後チ使用スベシペンキ塗ハ見本差出シ色

合検査ノ上塗立ツベシ

柱其他長柄ニシテ込栓打ノ分ハ総テ「コキ」柄ニスベシ

本仕様書中ノセメントハ当部規定試験ヲ施行シ之レニ合格セシモノヲ採用スベシ

仕様書ニ記載ナキ鉄物ニシテ施行中必要ヲ生スルトキは係員ノ

指揮ニ従ヒ請負費内ニ於テ仕拵可致事

右工事小細の廉ハ追テ詳細図ヲ以テ相示ス若シ図面仕様

中ニ明記ナシト雖建築構造法ノ原理ニ基キ工事上欠クベカラ

ザル各所ハ請負費内ニ於テ仕拵又仕様書ト図面ト符合セサルモノアルトキハ当該係官ノ解釈ニ従ヒ施行スベキモノトス

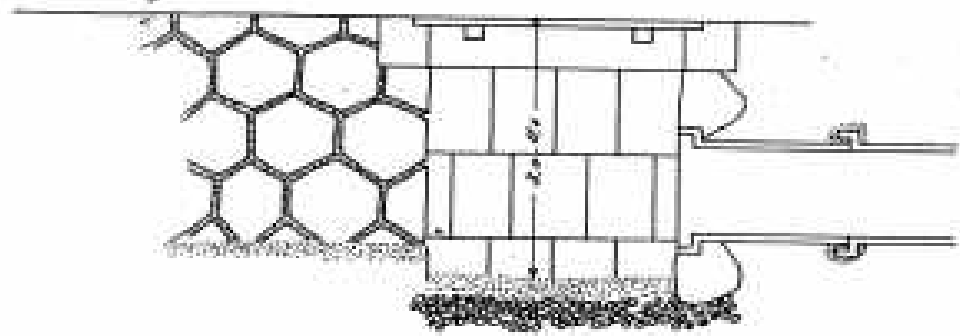
本工事落成ノ上ハ足代其他総体取払残品取片付跡掃除共

竣工期日内ニ可致事

竣工期日内ニ可致事

水面断面水

比二分拾玖尺縮



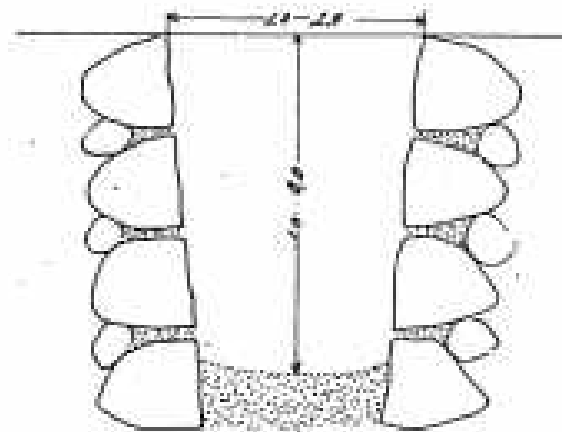
置位事工水排庫品需及科理衣

比二分拾玖尺縮

比二分拾玖尺縮

水面断面溝

比二分拾玖尺縮

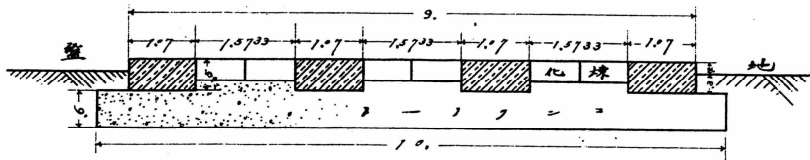


例 九

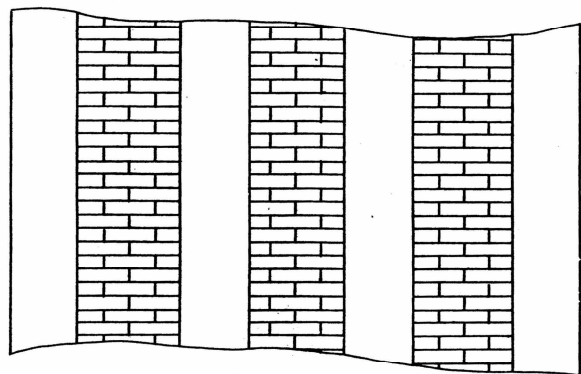
- 口
- 水
- 溝
- 均
- 電
- 溝
- 渠



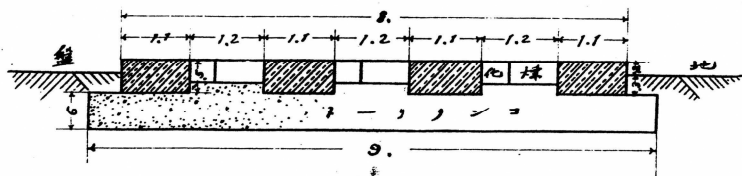
面断志号甲。



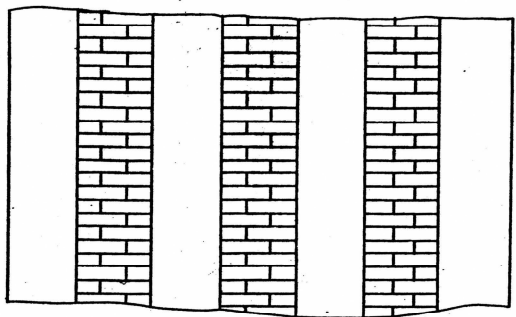
面平志号甲。



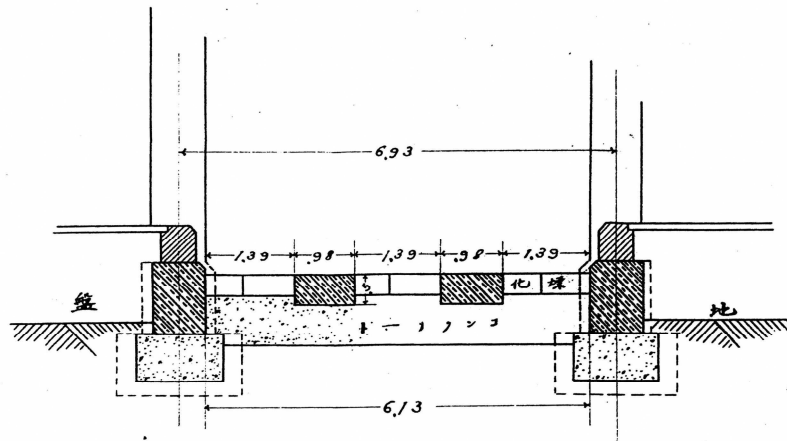
面断志号乙。



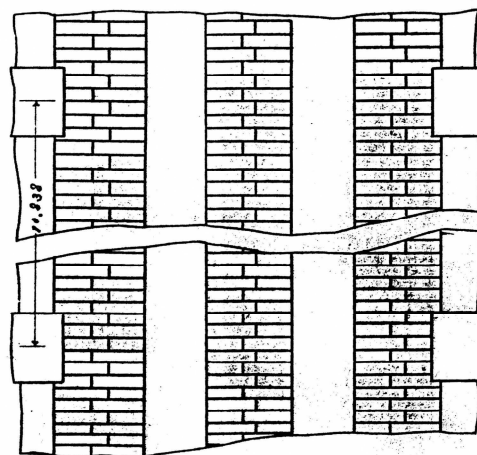
面平志号乙。



面断志号丙。



面平志号丙。

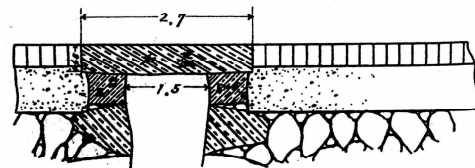


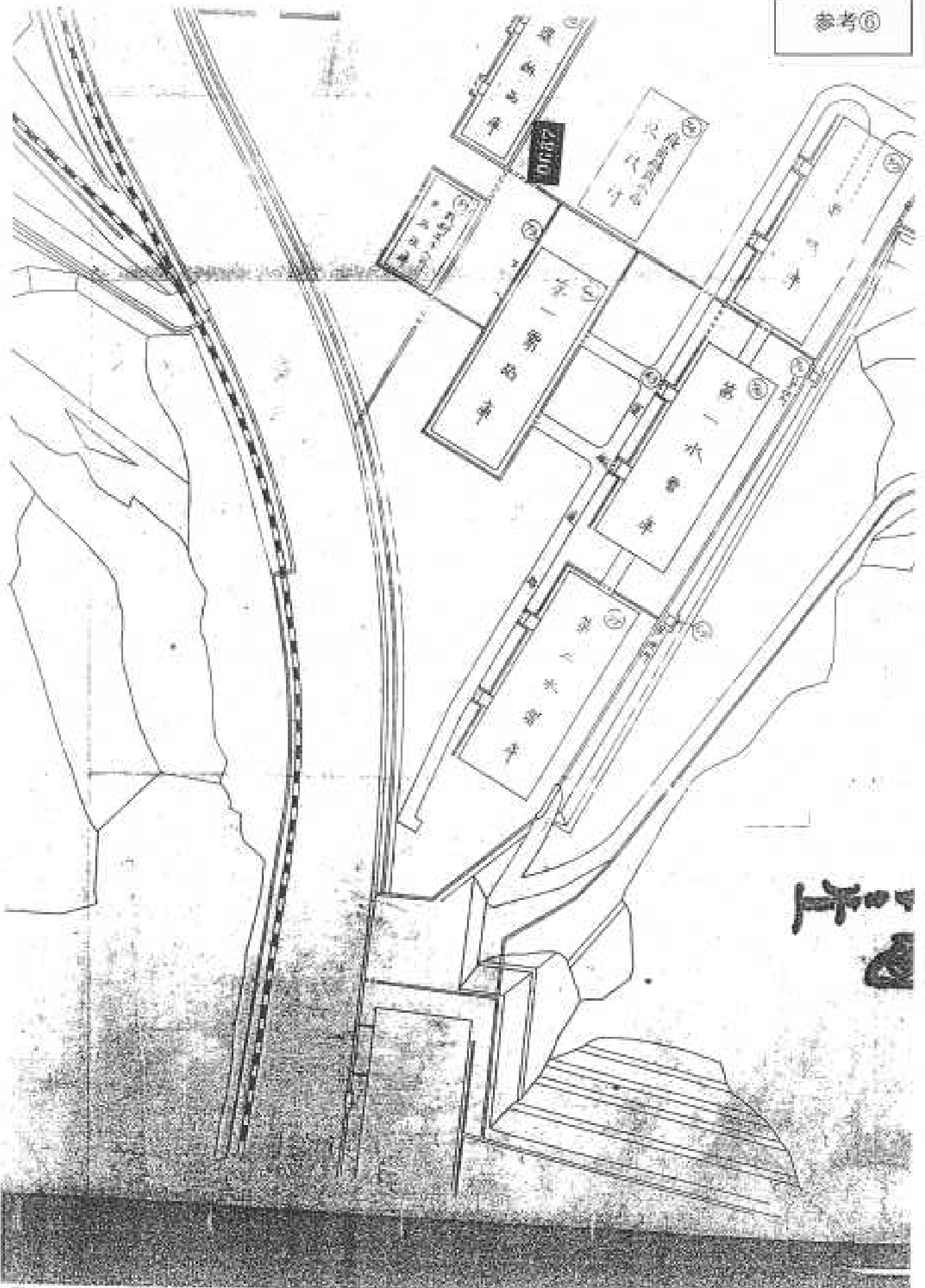
備考 甲乙丙各号
或埋菜地一片
割裂五橋トリス
其他志号ト是
ニ事ナシ

舜鶴海軍需品庫物品運搬通路之裔
縮尺貳拾分ノ志

彦華ノ内式
西園
分庫

蓋石水下



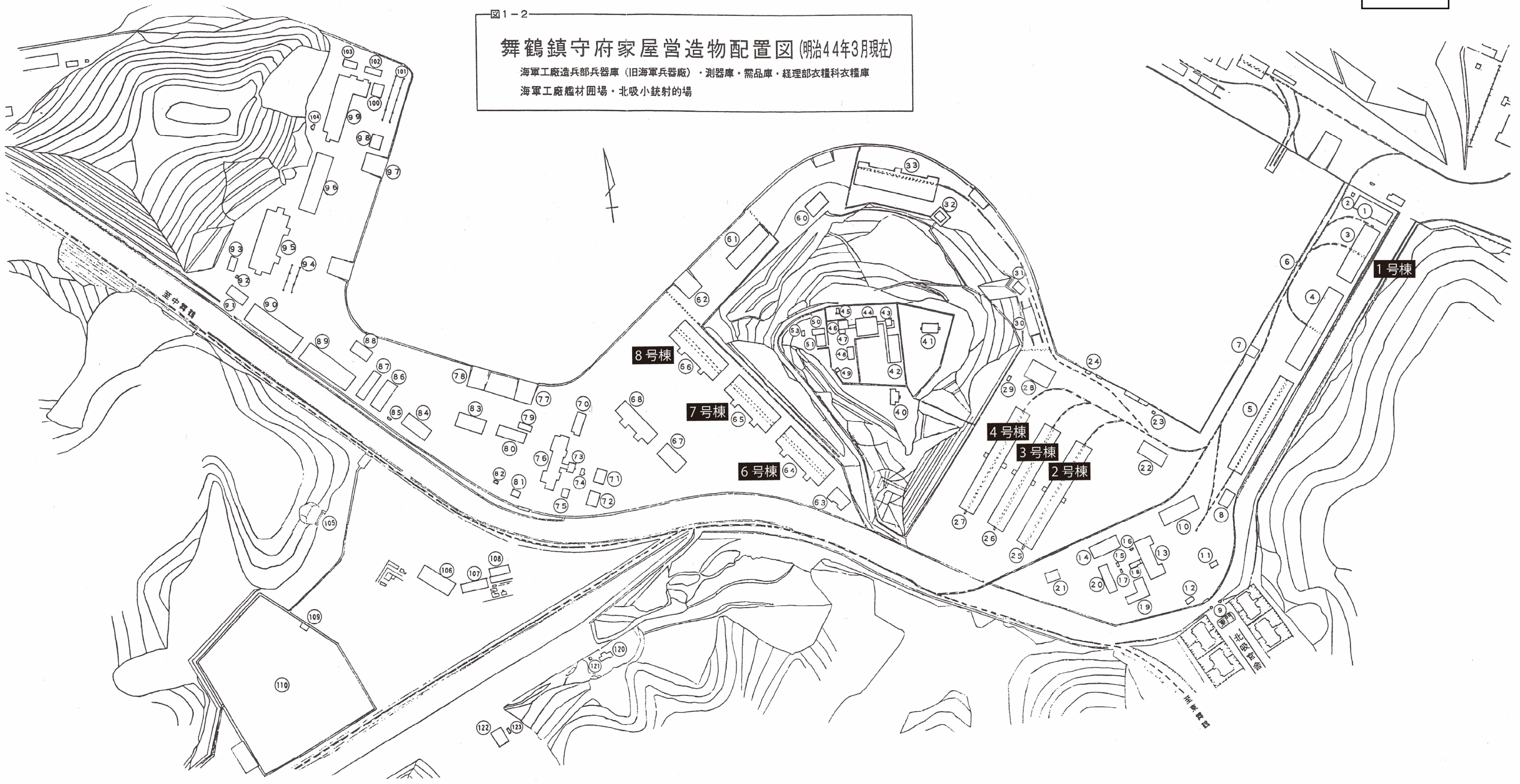


正

図1-2

舞鶴鎮守府家屋營造物配置図(明治44年3月現在)

海軍工廠造兵部兵器庫(旧海軍兵器廠)・測器庫・需品庫・經理部衣糧科衣糧庫
海軍工廠艦材困場・北吸小銃射の場



【施設一覧】

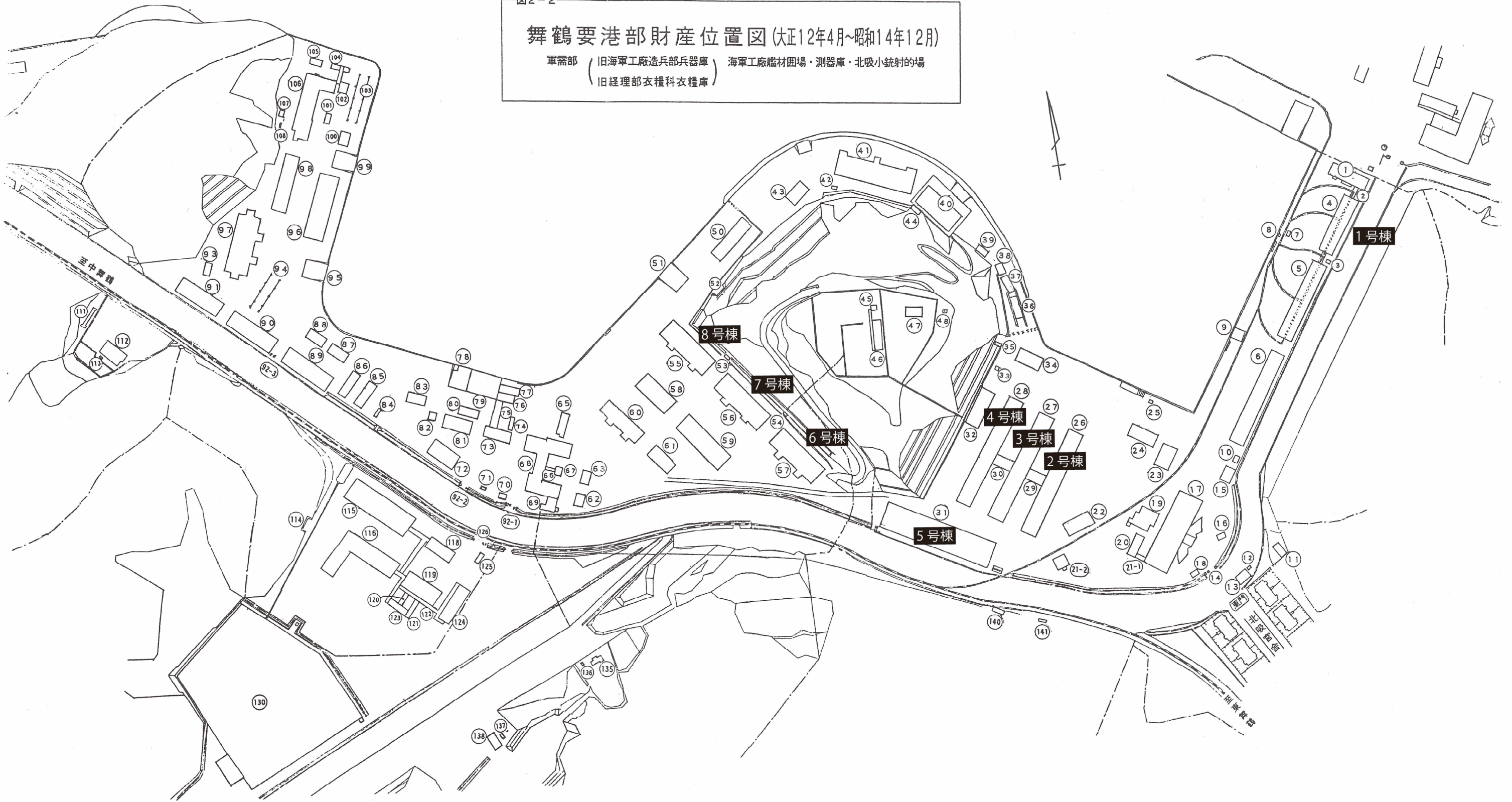
- 1：格納庫 2：便所 3：第二水雷庫 4：第一水雷庫 5：大砲庫 6・7：起重機 8：発電所 9：衛兵所(東門) 10：水雷出納事務所 11：倉庫 12倉庫 13：兵器庫庁舎 14：兵器入手所 15～17：便所 18：渡廊下・便所
- 19：便丁詰所・湯沸場 20：第二物置 21：第一物置 22：砲銃出納事務所 23：守衛所 24：起重機 25：第二砲銃要具庫 26：弾丸庫 27：第一砲銃要具庫 28：運搬要具庫 29：便所 30：電纜格納池 31：電纜試験場 32：油庫
- 33：第二電纜格納池 40：羅針室 41：経線儀及子午環室 42：倉庫 43：測量士・採風士詰付所 44 文庫庁舎 45：守衛所 46：湯沸所 47：便所 48：物置 49：油庫 50：車庫 51：細工場 53：便所 60：塗庫 61：油庫 62：物揚場
- 63：塗具庫 64～66：需品倉庫 67：薪炭並石炭庫 68：還納品庫 70：使丁詰室・湯沸所 71・72：物置 73・74：便所 75：商人詰所 76：需品庫・衣糧科庁舎 77・78：物揚場 79：食糧品受渡所 80：物品受渡所 81：門衛所 82：便所
- 83：物品検査場 84：雑品庫 85：便所 86：被服裁断所 87：需品入手所 88：還納被服庫 89・90：被服庫 91：還納被服庫 92：便所 93：火酒庫 94：物干 95：罐詰庫 96：乾麵包庫 97：物揚場 98：事業場 99：麵包製造所
- 100：被服洗濯場 101：物干 102：被服洗濯所 103：冷蔵庫附属機械室 104：便所 105：揮発油庫 106：標の入手所 109：給水口 110：艦材困場 120：射的場番所 121：番舎湯沸場 122：休憩所 123 第一便所

※舞鶴市立赤れんが博物館『赤れんがレポート』3号より(一部加筆)

図2-2

舞鶴要港部財産位置図(大正12年4月~昭和14年12月)

軍需部 (旧海軍工廠造兵部兵器庫) 海軍工廠艦材囤場・測器庫・北吸小銃射の場
(旧経理部衣糧科衣糧庫)



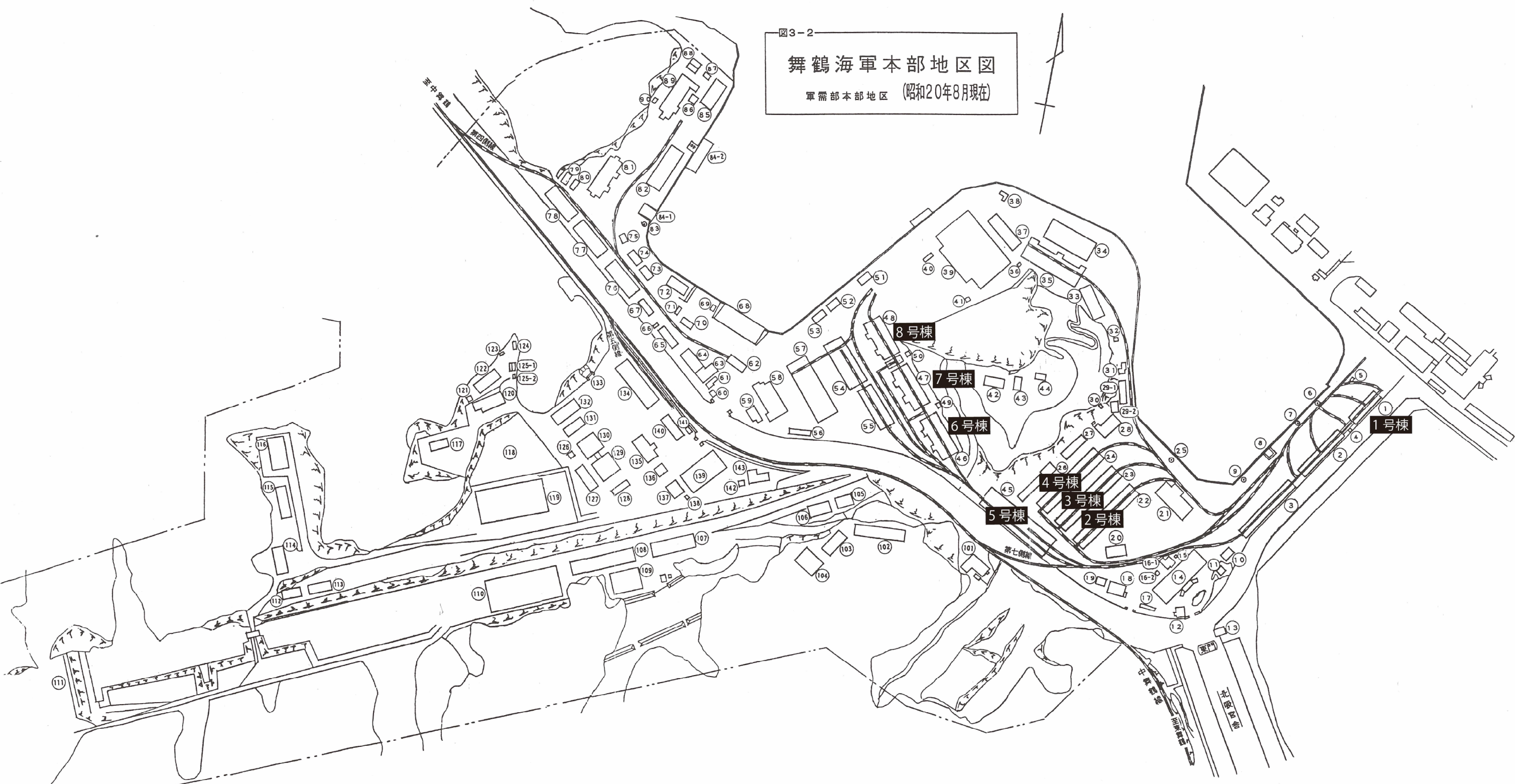
【施設一覧】(一部抜粋)

- 1:掃海具庫 2:廊下 3:便所 4:装備庫 5:機雷庫 6:大砲庫 7:棧〇〇走〇洗濯場 8・9:起重機 10:第三物置 11:配電所 12:便所 13:番兵詰所 14:門(軍需部) 15:金工場 16:第一火工品庫 17:庁舎(軍需部)
 18:門衛所 19:汽罐場 20:傭人詰所並物置 21-1:渡廊下 21-2:第一物置 22:第二損品廃品庫 23:機雷庫 24:兵器出納事務所 25:見張所 26:第三砲銃庫 27:第二砲銃庫 28:第一砲銃庫 29・30:渡廊下 31:第三水雷庫
 32:第一損品廃品庫 33:第三便所 34:木工場 35:第一硫酸庫 36:第二電纜格納池 37・38:電纜試験所 39:物品置場 40:飛行機倉庫 41:第一電纜池 42:第二硫酸庫 43:倉庫 44:第四便所 45:第二倉庫 46:第一倉庫
 47:経線儀及子午環所 48:定儀試験台 50:油庫 51:第五物揚場 52:第一揮発油庫 53:第六便所 54:第五便所 55:電機庫 56:第一水雷庫 57:第二水雷庫 58:標的入手所 59:第一需品庫 60:還納品庫 61:仮兵舎・塗具庫
 62:第一物置 63:清算所並雇員休憩所 65:使丁詰所・湯沸所 66:渡廊下 67:便所 68:庁舎 70:門衛所 71:第二便所 72:通常物品倉庫 73:物品置所 74:第二物置 75:渡廊下 76:第四物揚場 77:上家 78:第三物揚場
 79:第六物揚場 80:荷解場 81:物品検査場 82:第一自動車庫 83:第二自動車庫 84:第四便所 85:第二米麦庫 86:第一米麦庫 87:還納被服庫 88:被服入手所 89:第二被服庫 90:第一被服庫 91:第三被服庫 92-1:門
 92-2:通用門 92-3:第一通用門 93:雑品庫 94:第二物干 95:第二物揚場 96:第四被服庫 97:罐詰庫 98:乾麵包庫 99:第一物揚場 100:事業場 102:第二洗濯場 103:第一物干 104:第一洗濯場 105:冷蔵庫及機械場
 106:麵包製造所 107:木炭置場 108:第三便所 111:菌完液沸場 112:鉄管試験場 113:便所 114:第二揮発油庫 115:被服倉庫 116:被服裁縫工場 118:梱包所 119:職工休憩所 120・121・122:渡廊下 123:便所
 124:事務所兼男傭人詰所 125:守衛詰所 126:門 130:艦材囤場 135:射の場番舎 136:番舎湯沸所 137:第一便所 138:休憩所 140:第二休憩所 141:第三便所

図3-2

舞鶴海軍本部地区図

軍需部本部地区 (昭和20年8月現在)



【施設一覧】

- 1: 装備庫 2: 機雷庫 3: 大砲庫 4: 便所 5: 守衛見張所 6: 3トン人力捲揚機 7: 2トン人力捲揚機 8: 25トン電動起重機 9: 3トン電動起重機 10: 書類庫 11: 奉安庫 12: 守衛詰所 13: 衛兵所 (東門) 14: 庁舎 (軍需部)
 15: トランス室 16-1: 配電所仮汽罐場 16-2: 湯沸場 17: 自転車置場 18: 第一仮自転車庫 19: 消防自動車庫 20: 第二損品廃品庫 21: 雇員休憩所兼傭人詰所 22: 第三砲銃庫 23: 第二砲銃庫 24: 第一砲銃庫 25: 10トン電動起重機
 26: 第一古箱仮置場 27: 第一損品廃品庫 28: 舟艇員作業所 29-1: 第二電纜格納池 29-2: パルプ製作所 30: 第一硫酸庫 31: 電纜試験場 32: 物品置場 33: 防毒兵器庫 34: 第五仮格納庫 35: 第一電纜格納池 36: 第二硫酸庫
 37: 魚雷調整場・附属屋 38: 第二見張所 39: 魚雷調整場 40: 魚雷調整場附属守衛所 41: 魚雷調整場附属便所 42: 第二古箱仮置場 43: 第一倉庫 44: 経線儀及子午環所 45: 第三水雷庫 46: 第二水雷庫 47: 第一水雷庫 48: 電機庫
 49: 第五便所 50: 第六便所 51: 兵器入手場兼仮事務所 52: 物置 53: 湯沸場 54: 電機兵器庫 55: 第二電機庫 56: 第十五仮自転車置場 57: 第二砲術科兵器庫 58: 光学兵器庫 59: 便所兼浴場 60: 守衛詰所 62: 第二通常物品庫
 63・64: 通常物品倉庫 (需品物品庫) 65: 自動車庫 66: 第四便所 67: 自転車置場 68: 物揚場 69: 哨所 70: 第二自動車庫 71: 第二便所 72: 貯藏品格納庫 73: 還納品格納庫 74: 被服入手所 75: 標的入手所 76: 第六需品庫
 77: 第五需品庫 78: 第四需品庫 79: 危険物倉庫 80: 雑品庫 81: 第二需品庫 82: 第一需品庫 83: 5トン電動起重機 84-1: 物揚場 84-2: 需品供給棧橋 85: 油庫 86: 第二洗濯所 87: 第一洗濯所 88: 冷蔵庫兼機械場 89: 麵包製造所
 90: 第三便所 101: 仮倉庫 102: 第五仮需品庫 103: 第四仮需品庫 104: 第三仮需品庫 105: 第十九仮需品庫 106: 仮自動車部品庫 107: 第十二需品庫 (第四燃料倉庫) 108: 第十一需品庫 (第二燃料倉庫) 109: 第三燃料倉庫
 110: 第十需品庫 (第一燃料倉庫) 111: 射架・看的壕 112: 第七仮需品庫 113: 第六仮需品庫 114: 第八仮需品庫 115: 庁舎 116: 第一危険物倉庫 117: 潤滑油清浄所 118: 艦材囲場 119: 第九需品庫 120: 試験所 121: 九号物置
 122: 木炭仮置場・廃材処理場 123: 十一号仮塵溜場 124: 八号塵焼場 125-1: 七号塵焼場 125-2: 十号松根油上家 126: 第七便所 127: 電器修理工場及材料倉庫 128: 仮材料置場兼作業場 129: 兵器修理工場 (金工) 130: 兵器修理工場 (大工)
 131: 四号倉庫 132: 五号裁断室 133: 揮発油庫 134: 被服倉庫 135: 職工休憩所 136: 事務所兼傭人詰所 137: 航海兵器入手所 138: 航海兵器庫附属便所 139: 航海兵器庫 140: 梱包所 141: 守衛詰所 142: 瓦斯充填所 143: 油庫及塗具倉庫

※舞鶴市立赤れんが博物館『赤れんがリポート』3号より (一部加筆)



1 要港部時代（大正12年～昭和14年頃）の絵葉書 5号棟を南西から望む



2 5号棟南東から望む（右手2号棟、中3号棟）



3 2 と同時期の写真（右から2号・3号・4号・5号棟）



4 3号棟、4号棟を南東から望む



5 2号棟を東から望む



6 3号棟を東から望む（手前屋根は2号棟）



7 官舎山から西を望む（左手前は軍需部庁舎）



8 官舎山から西の海岸を望む（手前は大砲庫）撮影日：昭和27年11月15日



9 官舎山から西の海岸を望む（写真7より後年）



10 倉庫群遠景 南から望む（手前が5号棟）



11 2号棟を南東から望む



12 4号棟を北東から望む



13 5号棟二階から3号棟と4号棟の間を望む



14 4号棟を南西から望む



15 5号棟を東から望む



16 5号棟を西から望む



17 5号棟を西から望む



18 5号棟内部（一階）



19 5号棟内部（二階）



20 6号～8号棟を西から望む



21 6号～8号棟を南から望む



22 需品庫荷物運搬風景（西側出入口、3棟のうちどの建物かは不明）



23 旧海上気象観測所から西を望む（手前が8号棟）



24 昭和28年13号台風被災状況 6号棟南東から見る



25 昭和28年13号台風被災状況 6号棟北から見る



26 昭和28年13号台風被災状況 6号棟南東から見る



27 倉庫内部（建物不明）



28 倉庫内部（建物不明）



29 3号棟北側岸壁付近

※古写真2～29は舞鶴倉庫株式会社所有の写真で、撮影年代は昭和27年～30年頃とみられる。